

**BEST AVAILABLE COPY****PATENT ABSTRACTS OF JAPAN**

(11)Publication number : 2001-344369

(43)Date of publication of application : 14.12.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60  
G06F 12/14  
G06F 13/00  
G06F 17/30  
H04H 1/00

(21)Application number : 2001-050245

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing : 26.02.2001

(72)Inventor : TAKITA YUKIKO

(30)Priority

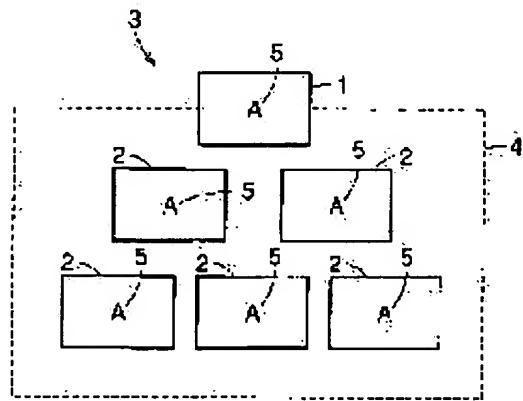
Priority number : 2000092721 Priority date : 30.03.2000 Priority country : JP

**(54) DELIVERY SYSTEM FOR CONTENTS AND ITS RECEIVIN DEVICE, DELIVERY DEVICE, MACHINE-READABLE MEDIUM RECORDED WITH ITS RECEPTION PROGRAM AND MACHINE-READABLE MEDIUM RECORDED ITS DELIVERY PROGRAM**

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To protect against unauthorized removal of digital contents at reading in rotation of users, using mobile terminals at public facility or the like.

SOLUTION: In a contents delivery system 3 comprising a contents delivery device 1 delivering contents 5 and a contents receiver 2 receiving and reproducing the delivered contents 5, the device 1 delivers a signal to continuously reproduce the contents 5 at every by each prescribed time period, and when this signal is not received for the prescribed time period, the receiver 2 can no longer reproduce the contents 5.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-344369

(P2001-344369A)

(43)公開日 平成13年12月14日 (2001.12.14)

(51)Int.Cl'	識別記号	F I	マーク(参考)
G 06 F 17/60	1 4 2	G 06 F 17/60	1 4 2
	5 0 6		5 0 6
12/14	3 2 0	12/14	3 2 0 F
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 S
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 G

審査請求 未請求 請求項の数20 OL (全17頁) 最終頁に続く

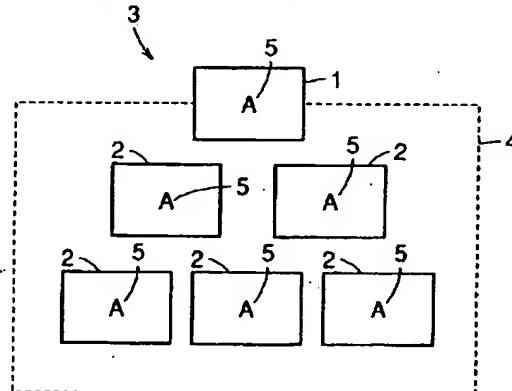
(21)出願番号	特願2001-50245(P2001-50245)	(71)出願人	000005049 シャープ株式会社 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号
(22)出願日	平成13年2月26日 (2001.2.26)	(72)発明者	田北 由貴子 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ ヤープ株式会社内
(31)優先権主張番号	特願2000-92721(P2000-92721)	(74)代理人	100064746 弁理士 深見 久郎
(32)優先日	平成12年3月30日 (2000.3.30)		
(33)優先権主張国	日本 (JP)		

(54)【発明の名称】 コンテンツ配信システム、コンテンツ受信装置、コンテンツ配信装置、コンテンツ受信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体、コンテンツ配信プログラムを記録した機械読取可能な記

(57)【要約】

【課題】 公共施設などにおいて利用者が携帯情報端末を利用してデジタルコンテンツの回し読みをする際にコンテンツの無断持出しを防止する。

【解決手段】 コンテンツ5を配信するコンテンツ配信装置1と配信されたコンテンツ5を受信して再生するコンテンツ受信装置2とからなるコンテンツ配信システム3では、コンテンツ配信装置1はコンテンツ5を継続再生させるための信号を所定期間ごとに配信しコンテンツ受信装置2は、この信号を所定期間受信しなかった場合は、コンテンツ5を再生できなくなる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 配信されたコンテンツを受信して再生する1つ以上のコンテンツ受信装置と、前記コンテンツを配信するコンテンツ配信装置とを備えるコンテンツ配信システムであって、

前記コンテンツ配信装置は、前記コンテンツを継続して再生させるための継続信号を配信し、前記コンテンツ受信装置では、前記継続信号を受信不可能な場合は前記コンテンツの再生は不可能になることを特徴とする、コンテンツ配信システム。

【請求項2】 コンテンツを受信して再生するコンテンツ受信装置であって、

前記コンテンツを継続して再生させるための継続信号を受信不可能な場合は、受信された前記コンテンツの再生は不可能になることを特徴とする、コンテンツ受信装置。

【請求項3】 受信された前記コンテンツを、前記コンテンツを再生するための手順を示す再生手順情報に従い再生することを特徴とする、請求項2に記載のコンテンツ受信装置。

【請求項4】 前記再生手順情報は前記コンテンツとともに受信されることを特徴とする、請求項3に記載のコンテンツ受信装置。

【請求項5】 前記継続信号は、所定のエリア内において受信可能であることを特徴とする、請求項2ないし4のいずれかに記載のコンテンツ受信装置。

【請求項6】 前記コンテンツの種類のそれぞれを特定するコンテンツ特定情報を受信して提示する情報提示手段と、

前記情報提示手段により提示された前記コンテンツ特定情報に基づいて指定された前記コンテンツを要求して受信することを特徴とする、請求項2ないし5のいずれかに記載のコンテンツ受信装置。

【請求項7】 前記コンテンツ種類のそれについて配信可能な前記コンテンツの数が予め定められている場合に、

前記コンテンツ特定情報は、前記コンテンツ受信装置により受信された前記コンテンツの種類に基づいて更新されることを特徴とする、請求項6に記載のコンテンツ受信装置。

【請求項8】 受信した前記コンテンツを配信元に返却する手段をさらに備えることを特徴とする、請求項2ないし7のいずれかに記載のコンテンツ受信装置。

【請求項9】 前記コンテンツ特定情報は、前記コンテンツ受信装置により前記配信元に返却された前記コンテンツの種類に基づいて更新されることを特徴とする、請求項8に記載のコンテンツ受信装置。

【請求項10】 コンテンツを配信するコンテンツ配信手段と、

前記コンテンツの配信先において前記コンテンツを継続

して再生するための継続信号を配信する継続信号配信手段とを備える、コンテンツ配信装置。

【請求項11】 配信した前記コンテンツの数を管理する機能をさらに備えることを特徴とする、請求項10に記載のコンテンツ配信装置。

【請求項12】 前記コンテンツを再生するための手順を示す再生手順情報を配信することを特徴とする、請求項10または11に記載のコンテンツ配信装置。

【請求項13】 前記継続信号は、所定のエリア内において配信されることを特徴とする、請求項10ないし12のいずれかに記載のコンテンツ配信装置。

【請求項14】 前記継続信号をブロードキャストに従い配信することを特徴とする、請求項10ないし13のいずれかに記載のコンテンツ配信装置。

【請求項15】 前記コンテンツをブロードキャストに従い配信することを特徴とする、請求項10ないし14のいずれかに記載のコンテンツ配信装置。

【請求項16】 所望される前記コンテンツを取得するための取得要求を受信すると、要求元宛てに前記所望コンテンツを配信することを特徴とする、請求項10ないし15のいずれかに記載のコンテンツ配信装置。

【請求項17】 コンテンツ受信方法をコンピュータで実行するためのコンテンツ受信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体であって、

前記コンテンツ受信方法は、

前記コンテンツを受信する受信ステップと、

前記受信ステップにより受信された前記コンテンツを再生するコンテンツ再生ステップとを備えて、

前記コンテンツ再生ステップでは、前記コンテンツを継続して再生させるための継続信号を受信不可能な場合は、受信された前記コンテンツの再生は不可能になることを特徴とする、コンテンツ受信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体。

【請求項18】 コンテンツ配信方法をコンピュータで実行するためのコンテンツ配信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体であって、

前記コンテンツ配信方法は、

前記コンテンツを配信する配信ステップと、

前記配信ステップにより配信された前記コンテンツを受信した受信元で、受信した前記コンテンツを継続して再生するための継続信号を配信する継続信号配信ステップとを備えることを特徴とする、コンテンツ配信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体。

【請求項19】 コンテンツ受信方法をコンピュータで実行するためのコンテンツ受信プログラムであって、

前記コンテンツ受信方法は、

前記コンテンツを受信する受信ステップと、

前記受信ステップにより受信された前記コンテンツを再生するコンテンツ再生ステップとを備えて、

前記コンテンツ再生ステップでは、前記コンテンツを継

統して再生させるための継続信号を受信不可能な場合は、受信された前記コンテンツの再生は不可能になることを特徴とする、コンテンツ受信プログラム。

【請求項20】 コンテンツ配信方法をコンピュータで実行するためのコンテンツ配信プログラムであって、前記コンテンツ配信方法は、前記コンテンツを配信する配信ステップと、前記配信ステップにより配信された前記コンテンツを受信した受信元で、受信した前記コンテンツを継続して再生するための継続信号を配信する継続信号配信ステップとを備えることを特徴とする、コンテンツ配信プログラム。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、電子書籍や電子マガジンなどのデジタル化された情報（以下、コンテンツという）を配信するためのコンテンツ配信システム、コンテンツ受信装置、コンテンツ配信装置、コンテンツ受信方法、コンテンツ配信方法、コンテンツ受信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体、コンテンツ配信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体、コンテンツ受信プログラムおよびコンテンツ配信プログラムに関する。

##### 【0002】

【従来の技術】 紙のメディアである書籍や雑誌に記載された情報は、近年では、インターネット、衛星放送、デジタルコンテンツ自動販売機などをを利用して携帯型情報端末にデジタルデータにしてダウンロードされて、電子書籍やモバイルマガジンという形態で利用されることが多くなってきている。

【0003】 銀行や美容院などの公共に利用される施設においては、紙メディアの書籍や雑誌は、利用者が待ち時間を利用して閲覧するために配置されていたり、飛行機の中で乗客に対するサービスとして配布されたりする。このような公共に利用される施設においては、複数の利用者に同じ書籍や雑誌を利用してもらうような場合、各利用者は書籍や雑誌を所定場所から持ち出して閲覧が終ると、次に閲覧を希望する利用者のために自ら所定場所に戻したり、施設の係員は書籍や雑誌を利用者に配布して、その後利用者から回収したりする。

##### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 公共に利用される施設において、従来は紙メディアの形態で利用者に提供されていた書籍や雑誌を、デジタルデータとして利用者が所有する携帯型情報端末などにダウンロードして電子メディアとして提供する場合、提供されたデジタルデータは携帯型情報端末内のメモリやハードディスクなどの記憶素子に記憶される。それゆえに、利用者が携帯型情報端末を持って施設外に出てしまうと、施設内でのみ提供されて利用されるべき情報が利用者により持ち出されてしま

うから、利用者は実質的に書籍や雑誌の記載情報を無断でコピーしたことになり、著作権上のトラブルが発生する。

【0005】 それゆえにこの発明の目的は、コンテンツが無断で持ち出されるのを防止するコンテンツ配信システム、コンテンツ受信装置、コンテンツ配信装置、コンテンツ受信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体、コンテンツ配信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体、コンテンツ受信プログラムおよびコンテンツ配信プログラムを提供することである。

##### 【0006】

【課題を解決するための手段】 この発明のある局面にかかるコンテンツ配信システムは配信されたコンテンツを受信して再生する1つ以上のコンテンツ受信装置と、コンテンツを配信するコンテンツ配信装置とを備える。そして、コンテンツ配信装置は、コンテンツを継続して再生させるための継続信号を配信する。コンテンツ受信装置では、継続信号を受信不可能な場合はコンテンツの再生は不可能になる。

【0007】 したがって、コンテンツ受信装置は、コンテンツ配信装置から受信したコンテンツを、継続信号を受信できる間は再生できるが、受信できないと再生不可能となる。それゆえに、継続信号を受信不可能な状態にあるコンテンツ受信装置においては、たとえコンテンツを受信して取得していたとしても再生することはできない。いいかえると、コンテンツ再生が許可されない状態に移行したコンテンツ受信装置におけるコンテンツ再生は禁止されて、コンテンツの無断持ち出しを防止できる。

【0008】 上述のコンテンツ受信装置は、再生されるコンテンツを提示する。したがって、コンテンツ受信装置のユーザは、コンテンツが提示されることにより該コンテンツの内容を確認できる。

【0009】 上述のコンテンツ配信装置は、継続信号を所定期間にごとに配信する。コンテンツ受信装置では、この所定期間、継続信号を受信不可能な場合はコンテンツの再生は不可能となる。

【0010】 上述のコンテンツ配信装置は、配信したコンテンツの数を管理する機能をさらに備える。

【0011】 上述のコンテンツ受信装置は、コンテンツを再生するための手順を示す再生手順情報を従いコンテンツを再生する。

【0012】 上述のコンテンツ配信装置は、再生手順情報を配信し、コンテンツ受信装置は、配信された再生手順情報を受信して取得する。

【0013】 したがって、コンテンツ受信装置それぞれは、コンテンツ再生のための再生手順情報を個別に準備しなくとも、コンテンツ配信装置から受信することで取得できる。

【0014】 上述のコンテンツ受信装置それぞれには、

予め再生手順情報が個別に準備されてもよい。

【0015】上述の継続信号は、所定のエリア内において配信される。したがって、所定エリア外では継続信号は配信されないから、所定エリア外に移動したコンテンツ受信装置ではコンテンツの再生は不可能となる。それゆえに、配信されたコンテンツが所定エリアから無断持ち出しされるのを防止できる。

【0016】上述のコンテンツ配信装置は、継続信号をブロードキャストに従い配信するから、1つ以上のコンテンツ受信装置の全てに対して継続信号を一斉に供給できる。

【0017】上述のコンテンツ配信装置は、コンテンツをブロードキャストに従い配信するから、1つ以上のコンテンツ受信装置の全てに対してコンテンツを一斉に供給できる。

【0018】上述の1つ以上の受信装置のそれぞれは、所望されるコンテンツを取得するための取得要求を送信する。そしてコンテンツ配信装置は、取得要求を受信すると、要求元のコンテンツ受信装置宛てに所望コンテンツを配信する。

【0019】したがって、コンテンツ受信装置は、所望されるコンテンツをコンテンツ配信装置から受信して取得できる。

【0020】上述のコンテンツ配信装置は、配信可能なコンテンツの種類のそれを特定するコンテンツ特定情報を、ブロードキャストに従い配信するコンテンツ特定情報配信手段を有する。1つ以上のコンテンツ受信装置のそれは、コンテンツ特定情報配信手段により配信されたコンテンツ特定情報を受信して提示する情報提示手段と、提示されたコンテンツ特定情報に基づいて指定されたコンテンツを所望コンテンツとした取得要求を、コンテンツ配信装置に送信する取得要求送信手段とを有する。

【0021】したがって、コンテンツ受信装置では、予め配信されたコンテンツ特定情報を受信してユーザに提示することで、ユーザは配信可能なコンテンツの種類のうち配信を所望する種類のコンテンツを特定して、該コンテンツについての取得要求をコンテンツ配信装置に送信できる。これにより、ユーザは配信可能なコンテンツの種類を確認できる。また、所望種類のコンテンツが配信可能であるか否かを確認した上で、コンテンツの取得要求を送信できる。

【0022】上述のコンテンツ種類のそれについて配信可能なコンテンツの数が予め定められている場合においては、以下の特徴を有する。つまり、コンテンツ配信装置は、受信した所望コンテンツの種類に基づいて、コンテンツ特定情報を更新する情報更新手段を有する。上述の特定情報配信手段は、情報更新手段により更新されたとき、更新されたコンテンツ特定情報を、ブロードキャストに従い配信する。

【0023】上述の1つ以上のコンテンツ受信装置のそれは、受信したコンテンツをコンテンツ配信装置に返却する。情報更新手段は、返却されたコンテンツの種類に基づいて、コンテンツ特定情報を更新する。

【0024】このように、コンテンツ受信装置にコンテンツが配信されると、またはコンテンツがコンテンツ受信装置から返却されると、配信されたコンテンツの種類または返却されたコンテンツの種類に基づいてコンテンツ特定情報が更新されて、コンテンツ受信装置の全てに一斉に供給される。したがって、コンテンツ受信装置の全ては、何ら要求をしなくとも、最新データに更新されたコンテンツ特定情報を取得できる。

【0025】上述の取得要求送信手段は、コンテンツ受信装置に割当られた自己を一意に識別するための識別情報をとともに取得要求を送信する。1つ以上のコンテンツ受信装置のそれは、配信された識別情報を受信して、受信された識別情報と自己に割当られた前識別情報が一致したとき、応答信号をコンテンツ配信装置に送信する。コンテンツ配信装置は、取得要求とともに受信した識別情報を、ブロードキャストに従い配信し、配信された識別情報に対応の応答信号を受信したか否か確認する。

【0026】したがって、コンテンツ配信装置は、応答信号を受信できるか否かに基づいて、コンテンツが配信されて、これを保持しているコンテンツ受信装置が居るか否かを確認できる。

【0027】この発明の他の局面に係るコンテンツ受信装置では、コンテンツを継続して再生させるための継続信号を受信不可能な場合は、受信されたコンテンツの再生是不可能になる。

【0028】したがって、コンテンツ受信装置では、受信したコンテンツを、継続信号を受信できる間は再生できるが、受信できないと再生不可能となる。それゆえに、継続信号を受信不可能な状態にあるコンテンツ受信装置においては、たとえコンテンツを受信して取得していたとしても再生することはできない。いいかえると、コンテンツ再生が許可されない状態に移行したコンテンツ受信装置におけるコンテンツ再生は禁止されて、コンテンツの無断持ち出しを防止できる。

【0029】上述のコンテンツ受信装置では、受信されたコンテンツは、コンテンツを再生するための手順を示す再生手順情報に従い再生される。この再生手順情報はコンテンツとともに受信される。したがって、コンテンツ受信装置では、コンテンツ再生のための再生手順情報が予め準備されなくても、コンテンツとともに受信することで取得できる。

【0030】上述の継続信号は、所定のエリア内において受信可能である。したがって、所定エリア外では継続信号は受信できないから、所定エリア外に移動したコンテンツ受信装置ではコンテンツの再生は不可能となる。

それゆえに、配信されたコンテンツが所定エリアから無断持ち出しされるのを防止できる。

【0031】上述のコンテンツ受信装置は、コンテンツの種類のそれを特定するコンテンツ特定情報を受信して提示する情報提示手段と、情報提示手段により提示されたコンテンツ特定情報に基づいて指定されたコンテンツを要求して受信する。

【0032】したがって、コンテンツ受信装置では、予め配信されたコンテンツ特定情報を受信してユーザに提示することで、ユーザは配信可能なコンテンツの種類のうち配信を所望する種類のコンテンツを特定して、該コンテンツについての取得要求をコンテンツ配信装置に送信できる。これにより、ユーザは配信可能なコンテンツの種類を確認できる。また、所望種類のコンテンツが配信可能であるか否かを確認した上で、コンテンツの取得要求を送信できる。

【0033】上述のコンテンツ種類のそれぞれについて配信可能なコンテンツの数が予め定められている場合に、コンテンツ特定情報は、コンテンツ受信装置により受信されたコンテンツの種類に基づいて更新される。またコンテンツ受信装置は受信したコンテンツを配信元に返却する。コンテンツ特定情報は、コンテンツ受信装置により返却されたコンテンツの種類に基づいて更新される。

【0034】このように、コンテンツ受信装置にコンテンツが配信されると、またはコンテンツがコンテンツ受信装置から返却されると、配信されたコンテンツの種類または返却されたコンテンツの種類に基づいてコンテンツ特定情報が更新されて、コンテンツ受信装置に供給される。したがって、コンテンツ受信装置は、何ら要求をしなくとも、最新データに更新されたコンテンツ特定情報を取得できる。

【0035】この発明のさらなる他の局面に係るコンテンツ配信装置は、コンテンツを配信するコンテンツ配信手段と、コンテンツの配信先においてコンテンツを継続して再生させるための継続信号を配信する継続信号配信手段とを備える。

【0036】したがって、配信されたコンテンツを受信した受信元では、コンテンツ配信装置から受信したコンテンツを、継続信号を受信できる間は再生できるが、受信できないと再生不可能となる。それゆえに、継続信号を受信不可能な状態にある受信元においては、たとえコンテンツを受信して取得していたとしても再生することはできない。それゆえに、コンテンツの無断持ち出しを防止できる。

【0037】上述のコンテンツ配信装置は、継続信号を所定期間ごとに配信し、配信先では、所定期間、継続信号を受信不可能な場合はコンテンツの再生は不可能となる。

【0038】上述のコンテンツ配信装置は、配信したコ

50 ネンツの数を管理する機能をさらに備える。

【0039】上述のコンテンツ配信装置は、コンテンツを再生するための手順を示す再生手順情報を配信する。

【0040】上述の継続信号は、所定のエリア内において配信される。また、この継続信号はブロードキャストに従い配信される。また、コンテンツはブロードキャストに従い配信される。

【0041】上述のコンテンツ配信装置は所望されるコンテンツを取得するための取得要求を受信すると、要求元宛てに所望コンテンツを配信する。

【0042】この発明のさらなる他の局面に係るコンテンツ配信方法は、配信されたコンテンツを受信して再生する1つ以上のコンテンツ受信装置と、コンテンツを配信するコンテンツ配信装置とを備えるシステムに適用される。このコンテンツ配信方法は、コンテンツ配信装置において、コンテンツを継続して再生させるための継続信号を配信する継続信号配信ステップを有し、コンテンツ受信装置において、継続信号を受信不可能な場合はコンテンツの再生を不可能とするための再生不可能ステップを有する。

【0043】この発明のさらなる他の局面に係るコンテンツ受信方法は、コンテンツを受信する受信ステップと、受信されたコンテンツを再生するコンテンツ再生ステップとを備える。コンテンツ再生ステップでは、コンテンツを継続して再生させるための継続信号を受信不可能な場合は、受信されたコンテンツの再生は不可能になる。

【0044】この発明のさらなる他の局面に係るコンテンツ配信方法は、コンテンツを配信する配信ステップと、コンテンツの配信先においてコンテンツを継続して再生させるための継続信号を配信する継続信号配信ステップとを備える。

【0045】この発明のさらなる他の局面に係る記録媒体は、前述したシステムに適用されるコンテンツ配信方法をコンピュータで実行するためのコンテンツ配信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体である。

【0046】この発明のさらなる他の局面に係る記録媒体は、上述のコンテンツ受信方法をコンピュータで実行するためのコンテンツ受信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体である。

【0047】この発明のさらなる他の局面に係る記録媒体は、上述のコンテンツ配信方法をコンピュータで実行するためのコンテンツ配信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体である。

【0048】この発明のさらなる他の局面に係るコンテンツ配信プログラムは、上述のシステムに適用されるコンテンツ配信方法をコンピュータで実行するためのプログラムである。

【0049】この発明のさらなる他の局面に係るコンテンツ受信プログラムは、上述のコンテンツ受信方法をコ

ンピュータで実行するためのプログラムである。

【0050】この発明のさらなる他の局面に係るコンテンツ配信プログラムは、上述のコンテンツ配信方法をコンピュータで実行するためのプログラムである。

【0051】

【発明の実施の形態】以下、この発明の各実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【0052】(実施の形態1) 実施の形態1について説明する。

【0053】図1は、実施の形態1におけるコンテンツ配信システムの概念図である。図1のコンテンツ配信システム3は擬似的な閉空間4において、コンテンツ配信装置(以下、単に配信装置という)1と1つ以上のコンテンツ受信装置(以下、単に受信装置という)2を含む。配信装置1は、電子書籍や電子マガジンなどのデジタル化された価値ある情報(以下、コンテンツ5といふ)を配信する。受信装置2は、配信されたコンテンツ5を受信して再生して利用者に対して提示する。提示方法として、ここでは、画像(動画・静止画)による表示によるものが採用されるが、これに限定されない。他には、例えば音声・音楽出力または印刷などであっても良く、これらを組あわせたものであってもよい。図においては、“A”はコンテンツ5を示し、配信装置1から受信装置2それぞれにコンテンツ“A”が配信された状態を示す。

【0054】本実施の形態1が利用される様として次のようなケースがある。たとえば銀行や美容院などの公共に利用される施設の待合室のような擬似的な閉空間4に配信装置1が配置されており、携帯型の情報処理端末である受信装置2を持って利用者が待合室に入室し、コンテンツ5を受信して再生して閲覧するようなケースである。

【0055】ここで、擬似的な閉空間4とは、配信装置1と受信装置2間で通信が可能な空間のことをいうものとする。この場合、配信装置1から配信されるコンテンツ5は、擬似的な閉空間4内において配信される限りにおいては、配信数に制限は設けられない(配信側は、そのような契約に従ってコンテンツ5を購入している)ようなケースである。他のケースとしては、会議室などの擬似的な閉空間4において、会議のための極秘資料であるコンテンツ5が配信されるケースがある。この場合には、会議のメンバは携帯している受信装置2でコンテンツ5を受信し、再生し閲覧しながら会議する。会議が終了してメンバが退室するときには、コンテンツ5は受信装置2から削除される。

【0056】図2は、本実施の形態1における配信装置1の処理フローチャートである。図2を参照して、ステップS201において、コンテンツ5および対応のコンテンツ再生用アプリケーションプログラム(以下、コンテンツ再生用アプリケーションと呼ぶ)は、擬似的な閉

空間4内に存在するすべての受信装置2に対して配信装置1によりブロードキャストにより送信される。ここで、コンテンツ再生用アプリケーションとは、コンテンツ5毎またはコンテンツ5の種類毎に設けられて、対応するコンテンツ5を再生するためのアプリケーションプログラムであり、たとえば、コンテンツ5が電子書籍の場合は電子書籍を表示させるための電子書籍ビューアプログラムに相当するものである。なお、コンテンツ再生用アプリケーションは、受信装置2が後述するリフレッシュ信号RFを所定の期間受信しなかった場合には、受信装置2においてコンテンツ5を再生することができなくなるように、または受信装置2において受信されたコンテンツ5とともに自動的に削除されるようにプログラミングされている。リフレッシュ信号RFは受信装置2においてコンテンツ5を継続して再生させるための信号である。

【0057】ここでは、コンテンツ5を再生して利用者に提示するための手順を示す情報として、プログラムであるコンテンツ再生用アプリケーションを示したが、これに特定されない。つまり、受信したコンテンツ5を再生して利用者に提示するための手順を示す情報であって、受信装置2において実行可能な手順を示す情報であればよい。

【0058】次に、ステップS202において、配信装置1ではコンテンツ5の配信を終了するかどうかの判断が行なわれ、終了すると判断された場合(“YES”)は処理は終了するが、終了しないと判断された場合(“NO”)は後述するステップS203に進む。ここで、定期的に処理を終了し、再度ステップS201から処理が繰返されることにより、配信装置1はコンテンツ5およびコンテンツ再生用アプリケーションを定期的に受信装置2それぞれに対して配信できる。たとえば3分ごとに図2に示すフローチャートに従う処理が実行開始されるようすれば、利用者の携帯する受信装置2は、利用者が入室したときにコンテンツ5を受信できなかつたとしてもその後3分以内にはコンテンツ5を受信できる。

【0059】次に、ステップS203において、予め設定された所定期間の計時が満了した時点で、擬似的な閉空間4内の全ての受信装置2に対して配信装置1からリフレッシュ信号RFが発信されて、発信後、所定期間の計時はリスタートとしてステップS202に戻る。ステップS202とステップS203とからなるループ処理が繰返されることにより、配信装置1は擬似的な閉空間4内の全ての受信装置2に対して定期的にリフレッシュ信号RFを発信できる。

【0060】受信装置2は、リフレッシュ信号RFを所定期間内に受信できている間はコンテンツ再生用アプリケーションによりコンテンツ5を再生することができるが、所定期間を過ぎてもリフレッシュ信号RFを受信し

11

なくなった場合はコンテンツ5を再生できなくなる。

【0061】なお、リフレッシュ信号RFは、コンテンツ再生用アプリケーションに対して、対応のコンテンツ5を継続して再生させるように作用するトリガの信号であればいかなる信号でもよく、たとえば“01111110”といった規則的な信号列や、所定の期間ローレベルが続くパルス信号や、所定の周波数で形成された信号などであればよい。

【0062】図3は、本実施の形態1に係る受信装置2の処理フローチャートである。図3を参照して受信装置2では、ステップS301において、配信装置1からブロードキャストにより送信されたコンテンツ再生用アプリケーションおよびコンテンツ5が受信される。次のステップS302において変数Tに定数T0が設定される。定数T0は後述する信号確認部205により計時される所定期間の値を示す。

【0063】次にステップS303において変数Tの値が判断される。判断結果、変数Tの値が0以下（“YES”）であれば所定期間内にリフレッシュ信号RFが受信できなかったものと判断されて、ステップS304において、コンテンツ再生用アプリケーションは、該コンテンツ再生用アプリケーションに予め組込まれた機能によって、対応のコンテンツ5とともに削除されるか対応のコンテンツ5を再生できなくなるように加工される。その後、処理は終了する。

【0064】一方、ステップS303の判断結果、変数Tの値が0より大きいと判断されれば（“NO”）、ステップS305において、変数Tの値から所定の時間を示す値△Tが減じられる。次に、ステップS306において、リフレッシュ信号RFは受信されたかどうかが判断される。判断結果、受信されてなければ（“NO”）、ステップS303に戻り、以降の処理が同様に繰返されるが、受信されていれば（“YES”）、ステップS307において、変数Tに定数T0が再度設されて、ステップS308においてコンテンツ5は継続して再生される。その後、ステップS303の処理に戻り、以降の処理が繰返される。

【0065】以上の処理により、図1において、擬似的な閉空間4に入ってきた利用者は、擬似的な閉空間4内に居る間は受信装置2によりリフレッシュ信号RFを受信できるので、受信装置2によりコンテンツ5を受信して再生し閲覧することができる。利用者は受信装置2を携帯して擬似的な閉空間4から出た場合には、受信装置2によりリフレッシュ信号RFは受信できないので、コンテンツ5を再生できなくなるので、コンテンツ5が利用者により無断で擬似的な閉空間4外に持ち出されることを防止できる。もちろん、再度、擬似的な閉空間4に入れば、リフレッシュ信号RFの受信を再開できるようになって、コンテンツ5を再生することができる。

【0066】図4は、本実施の形態1に係るコンテンツ

12

配信システムの機能ブロック図である。コンテンツ配信システム3では配信装置1に1つ以上の受信装置2が通信により接続されるが、説明を簡単にするために図4では配信装置1と1つの受信装置2が通信により接続される状態が示される。

【0067】図4において配信装置1は複数種類のコンテンツ5とコンテンツ5の各種類に対応のコンテンツ再生用アプリケーションを含む情報が予め格納される記憶部101、送信部102、タイマ103および信号発生部104を含む。受信装置2は受信部201、1つ以上のコンテンツ5と1つ以上のコンテンツ再生用アプリケーションを含む情報が格納される記憶部202、再生部203、表示部204および信号確認部205を含む。

【0068】配信装置1において、記憶部101から読み出されたコンテンツ5および対応のコンテンツ再生用アプリケーションは、送信部102を介して受信装置2に対して配信される。タイマ103は計時して、予め設定された所定期間の計時が満了したことを検知すると該検知信号を信号発生部104に与える。信号発生部104はタイマ103から検知信号が与えられたことに応答して、リフレッシュ信号RFを発生し送信部102に与えるので、該リフレッシュ信号RFは送信部102を介して受信装置2に対して配信される。

【0069】送信部102による通信機能は、無線による通信方式に対応したものであってもよく、有線による通信方式に対応したものであってもよい。好ましくは一度に複数の受信装置2に情報を送信するためにブロードキャストによる通信が可能な無線による通信方式に対応したもののが適する。このような通信方式としては、例えばIrDA規格による赤外線通信、Bluetooth規格による無線通信方式などがある。

【0070】受信装置2では配信装置1から配信されたコンテンツ5およびコンテンツ再生用アプリケーションは、受信部201を介して受信されて記憶部202に格納される。再生部203は受信されたコンテンツ再生用アプリケーションを用いて形成される。再生部203は、記憶部202に記憶された対応のコンテンツ5を再生して表示部204に表示する。

【0071】配信装置1から送信されるリフレッシュ信号RFは、受信部201を介して受信される。信号確認部205は受信部201により受信された情報に基づいて、リフレッシュ信号RFが受信されたか否かを確認する。信号確認部205は所定期間内においてリフレッシュ信号RFが継続して受信されていると確認する間は、記憶部202に対して何も処理を行なわないので、受信されて記憶部202に格納されたコンテンツ5は再生部203により継続して再生される。一方、所定期間内においてリフレッシュ信号RFを継続して受信できなかつた場合は、信号確認部205は記憶部202に格納されているコンテンツ再生用アプリケーションに対して、該

13

コンテンツ再生用アプリケーションは対応のコンテンツ5とともに削除されるか、または該コンテンツ再生用アプリケーションはコンテンツ5を再生できないようなデータに加工されるように作用する。

【0072】図5は、本実施の形態1に係る受信装置2の主要な部品を示すハードウェアブロック図である。図において受信装置2は受信部201に対応の受信部1、記憶部202に対応のメモリ12、CPU(中央処理装置の略)13および表示部204に対応のディスプレイ14を含む。これらの各部はバスを介して相互に接続される。受信部1は通信インターフェイスを有する。この通信インターフェイスは、たとえば無線通信方式に対応したものである。受信部1で受信されたコンテンツ5およびコンテンツ再生用アプリケーションは、CPU13によりメモリ12に格納される。メモリ12に格納されたコンテンツ再生用アプリケーションは、CPU13の制御の下に実行されてメモリ12に格納されたコンテンツ5を再生しディスプレイ14に表示するよう動作する。

【0073】リフレッシュ信号RFもまた受信部11で受信される。CPU13により、所定期間内にリフレッシュ信号RFが受信されたか否かが確認される。その確認結果、所定期間を過ぎてもリフレッシュ信号RFが受信されない場合には、コンテンツ5がディスプレイ14に表示されないような処理がなされる。具体的には、CPU13により、メモリ12に格納されたコンテンツ5および対応のコンテンツ再生用アプリケーションが削除されるか、またはコンテンツ再生用アプリケーションはコンテンツ5を再生することができないようなデータに加工される。

【0074】配信装置1も図5の受信装置2と同様にCPUおよびメモリを備え、さらにコンテンツ5などのデータを送信するための送信部を備えて構成される。

【0075】図6は、本実施の形態1における具体例を示す概念図である。図においては飛行機の中という擬似的な閉空間4が想定される。この擬似的な閉空間4において、天井に設けられた配信装置1の送信部102から点線矢印で示される無線のブロードキャストによりコンテンツ5が配信されて、利用者は配信されたコンテンツ5を携帯する受信装置2で受信して再生し、再生により得られたコンテンツ5の画像はディスプレイ14に表示されて利用者により閲覧される。図示されないが、利用者が機外(擬似的な閉空間4外)に出た時点で、受信装置2ではリフレッシュ信号RFを受信できなくなりコンテンツ5の再生はできなくなるので、コンテンツ5の配信側は、コンテンツ5を回収する手間が省けるとともに、コンテンツ5に関する著作権上のトラブルも回避できる。

【0076】また、会議室などにおいて会議のための極秘資料であるコンテンツ5は、会議に参加するメンバが携帯する受信装置2であるノート型のパーソナルコンピ

10

20

30

40

50

14

ュータに配信されると、会議終了後にはノート型パーソナルコンピュータにおいて自動的に削除されるから、秘密保持に関するトラブルは回避される。

【0077】(実施の形態2) 次に、実施の形態2について説明する。

【0078】図7(A)と(B)は本実施の形態2に係るコンテンツ配信システムの機能ブロック図である。本実施の形態2に係るコンテンツ配信システムでは配信装置1Aに1つ以上の受信装置2Aが通信可能に接続されるが、ここでは説明を簡単にするために配信装置1Aに1つの受信装置2Aが接続される。図7(A)において配信装置1Aは選択部301、記憶部302、識別情報付加部303、送信部304、受信部305、計数管理部306、タイマ307および信号発生部308を含む。受信装置2Aは受信部401、記憶部402、再生部403、テーブル格納部404、入力部405、入力判定部406、識別情報付加部407、送信部408、識別情報チェック部409、表示部410および信号確認部411を含む。

【0079】配信装置1Aにおいて実施の形態1のそれと異なる主な点は、記憶部302に記憶されるコンテンツ5を選択するための選択部301、コンテンツ5の送信先の受信装置2Aを一意に識別するための識別情報を付加するための識別情報付加部303、データを受信するための受信部305および管理テーブル3061を格納してその情報を管理する計数管理部306を備える点にある。

【0080】受信装置2Aにおいて実施の形態1のそれと異なる主な点は、表示部410に表示される情報に基づいて利用者が所望する情報を入力する入力部405、入力部405から入力された情報を判定するための入力判定部406、送信されるデータについて該受信装置2Aを識別するために予め割当てられた識別情報を付加する識別情報付加部407、データを送信するための送信部408、受信データに含まれる識別情報を該受信装置2Aに予め割当てられた識別情報を比較するための識別情報チェック部409およびコンテンツ貸し出し状況テーブル4041を格納して、該テーブルの情報を更新するためのテーブル格納部404を備える点にある。図7(B)には、管理テーブル3061の内容が示されるが、その詳細は、後述する。

【0081】図7(A)の配信装置1Aでは、受信部305はコンテンツ5の取得を要求するための取得要求を受信した場合は、受信情報は選択部301、識別情報付加部303および係数管理部306に与える。計数管理部306は、受信情報はコンテンツ5の取得要求であるか返却要求であるかを解析し、その解析結果に基づいて管理テーブル3061の情報を更新して、更新された管理テーブル3061のデータを送信部304に与える。

選択部301は受信情報に基づいて、記憶部302に記

憶される1つ以上のコンテンツ5中から、要求されたコンテンツ5と対応のコンテンツ再生アプリケーションを選択的に読み出して、識別情報付加部303に与える。識別情報付加部303は、受信情報からコンテンツ5の取得要求してきた受信装置2Aの識別情報を抽出して、選択部301から与えられたコンテンツ5に付加する。識別情報が付加されたコンテンツ5と対応のコンテンツ再生アプリケーションは識別情報付加部303から送信部304に与えられる。送信部304は、与えられるリフレッシュ信号RF、管理テーブル3061のデータならびに識別情報が付加されたコンテンツ5および対応するコンテンツ再生アプリケーションを入力して、受信装置2Aに送信する。タイム307および信号発生部308の処理動作については実施の形態1のタイマ103と信号発生部104のそれぞれと同様であり、説明は省略する。

【0082】図7(A)の受信装置2Aでは、受信部401で受信した情報について、識別情報チェック部409により識別情報がチェックされる。具体的には、受信情報に含まれるコンテンツ5に付加されている識別情報と該受信装置2Aに予め割当てられている識別情報とが比較されて、一致する場合には受信したコンテンツ5は記憶部402に格納される。この際、受信情報に含まれる管理テーブル3061のデータを用いてテーブル格納部404のコンテンツ貸し出し状況テーブル4041の情報が更新される。入力部405は、後述するようなダウンロードボタン8、返却ボタン9、選択ボタン18および決定ボタン19に対応する。これらボタンが利用者により操作されると、入力判定部406は入力部405を介してコンテンツ5の取得要求またはコンテンツ5の返却要求があったと判定して、判定結果と要求情報は識別情報付加部407に出力される。識別情報付加部407はコンテンツ5の返却要求はそのままにして、コンテンツ5の取得要求は対応の識別情報を付加してそれぞれ送信部408に与える。送信部408は与えられた要求を入力して、配信装置1Aに対して送信する。

【0083】図8は、本実施の形態に係る受信装置2Aを形成する主要な部品を示すハードウェアブロック図である。図において実施の形態1と異なる主な点は利用者が情報を入力するために操作する入力部15とデータの送信を行なう送信部16を備える点にある。メモリ12は記憶部402およびテーブル格納部404に対応する。送信部16は送信部408に対応する。入力部15は、入力部405に対応してタッチパネルやマウスやキーボードなどからなる。入力部15がタッチパネルである場合には、入力部15はディスプレイ14と一体的に設けられる。ディスプレイ14は表示部410に対応する。送信部16は、配信装置1Aにデータを送信すためのものであり、たとえばIrDA規格の赤外線通信インターフェイスやBluetooth規格などの無線通信インター

フェイスに対応する。図8のその他の構成は実施の形態1と同様であり説明を省略する。

【0084】図9は、この発明の実施の形態2に係るコンテンツ配信システムの概念図である。本実施の形態2では実施の形態1と同一の構成を示すものには同一符号を付して、詳細説明は省略する。図9のコンテンツ配信システム3Aにおいて実施の形態1のそれと異なる主な点は擬似的な閉空間4内で受信できるコンテンツ5の数に制限が設けられている点にある。したがって配信装置1Aでは配信したコンテンツ5の数を管理するために管理テーブル3061を用いた処理が必要とされ、また受信装置2Aではコンテンツ5を要求するためまたは閲覧し終えたコンテンツ5を配信装置1側へ返却するための処理が必要とされる。

【0085】本実施の形態2のコンテンツ配信システムでは“A”、“B”および“C”的3種類のコンテンツ5を配信可能と想定する。

【0086】本実施の形態2の管理テーブル3061は図7(B)に示されるように、“A”、“B”および

20 “C”的コンテンツの種類を示す種類データ101Aと、種類データ101Aのそれぞれについて保有数データ101Bおよび貸し出し数データ101Cおよびダウンロード可能数データ101Dが格納される。保有数データ101Bは、配信装置1Aにおいて保有される対応種類のコンテンツ5の数を示す。ここでは保有数データ101Bは、配信装置1Aがダウンロード可能な対応種類のコンテンツ5の最大数を示すと言える。貸し出し数データ101Cは対応する保有数データ101Bで示される数のコンテンツ5のうち受信装置2Aにダウンロードされて利用者に貸し出し中(利用者から返却されてない)のコンテンツ5の数を示す。ダウンロード可能数データ101Dは対応する種類のコンテンツ5であって現時点で貸し出し可能な(ダウンロード可能な)コンテンツ5の数を示す。

【0087】図7(B)の管理テーブル3061では、種類“A”については保有数データ101Bは3個を示し、同様に種類“B”については2個および種類“C”については1個を示す。種類“A”については貸し出し数データ101Cは2個を示すから、ダウンロード可能数データ101Dにより残り1個のコンテンツ5を受信装置2Aに対してダウンロード可能であることが示される。種類“B”および“C”的それぞれについては、対応の保有数データ101Bおよび貸し出し数データ101Cは同一の値を示すので、ダウンロード可能数データ101Dは0を示す。これは、対応種類のコンテンツ5は、配信装置1Aに保有されているすべてがダウンロード済であるから、受信装置2Aから種類“B”および“C”的それぞれに対応のコンテンツ5が返却されるまでは、該コンテンツ5を他の受信装置2Aに対してダウンロードすることはできないことを示す。図9には、図

7 (B) の管理テーブル 3061 で示されるようなコンテンツ 5 の配信状態における、各受信装置 2A についてダウンロードされたコンテンツ 5 の種類が示される。

【0088】図 10 (A) と (B) には、受信装置 2A のディスプレイ 14 における本実施の形態 2 に係る表示画面例が示される。図の画面には返却ボタン 8、ダウンロードボタン 9、コンテンツ表示エリア 10、コンテンツ貸出状況エリア 17、選択ボタン 18 および決定ボタン 19 が表示される。コンテンツ表示エリア 10 には再生により得られたコンテンツ 5 の情報が表示される。コンテンツ貸出状況エリア 17 に表示される情報は、記憶部 202 のコンテンツ貸し出し状況テーブル 4041 の情報に対応する。コンテンツ貸し出し状況テーブル 4041 の情報は、後述するように受信装置 2A が配信装置 1A から受信した管理テーブル 3061 の情報に対応して生成・更新される。

【0089】コンテンツ貸出状況エリア 17 には、具体的には、配信装置 1A において保有されるコンテンツの種類のそれぞれについて、該種類を示すコンテンツ種類データ 11A、配信装置 1A において保有されているコンテンツ 5 の数を示す保有数データ 11B、受信装置 2A にダウンロード済みでありまだ返却されてないコンテンツ 5 の数を示す貸し出し数データ 11C およびダウンロード可能なコンテンツ 5 の数を示すダウンロード可能数データ 11D が表示される。返却ボタン 8 はコンテンツ表示エリア 10 に表示されるコンテンツ 5 を配信装置 1A に返却するために利用者により操作される。返却ボタン 8 が操作されると該コンテンツ 5 の返却の要求が配信装置 1A に送信される。ダウンロードボタン 9 はコンテンツ 5 を配信装置 1A から受信装置 2A にダウンロードするために利用者により操作される。所望するコンテンツ 5 のダウンロードの要求は、次のようにして行なわれる。つまり、利用者は、コンテンツ貸出状況エリア 17 に表示される情報を確認して、ダウンロード可能なコンテンツ 5 の種類 (対応するダウンロード可能数データ 11D が 1 以上の種類) のうち、所望する種類に対応のコンテンツ種類データ 11A を、選択ボタン 18 を操作して選択し、続いて決定ボタン 19 を操作して選択内容を決定し、コンテンツダウンロードボタン 9 を操作する。これにより、選択されたコンテンツ 5 の受信の要求が配信装置 1A に対して送信される。

【0090】例えば、ダウンロード可能な種類 “B” のコンテンツ 5 について受信要求を送信すると、該コンテンツ 5 は受信装置 2A にダウンロードされて再生され、再生により得られた情報は図 10 (A) に示されるようにコンテンツ表示エリア 10 に表示される。このとき、コンテンツ貸出状況エリア 17 のデータも更新される。その後、利用者が返却ボタン 8 を操作して該コンテンツ 5 を配信装置 1A に返却すれば、図 10 (B) に示されるようにコンテンツ表示エリア 10 において、該コ

ンテンツ 5 の情報は表示されなくなる。このときコンテンツ貸出状況エリア 17 のデータは図 10 (A) のデータから図 10 (B) のデータに更新される。

【0091】図 11 は、本実施の形態 2 に係る配信装置 1A の処理フローチャートである。配信装置 1A は、図のステップ S801 においてコンテンツ 5、コンテンツ再生用アプリケーションおよび管理テーブル 3061 のデータをブロードキャストにより配信する。ここで、管理テーブル 3061 のデータは、図 10 (A) と (B) のコンテンツ貸出状況エリア 17 に示されるデータに対応する。次にステップ S802 において、処理を終了するかどうか判断され、処理を終了しないと判断された場合 (“NO”) にはステップ S803 で受信装置 2A からコンテンツ 5 の送信の要求または返却の要求があるか否かが判断される。要求がないと判断された場合は、ステップ S804 でリフレッシュ信号 RF が配信される。その後、ステップ S802 の処理に戻る。

【0092】一方、ステップ S803 において、受信装置 2A からの要求があると判断された場合は、ステップ S805 において要求の信号を受信し、ステップ S806 において該信号で示される要求はコンテンツ 5 の送信の要求であるか、またはコンテンツ 5 の返却の要求であるかが判断される。コンテンツ 5 の取得要求であると判断された場合は、ステップ S8061 において送信が要求されたコンテンツ 5 を送信可能か否か判断される。具体的には、管理手テーブル 3061 の対応のダウンロード可能データ 101D の値が 0 である場合には送信不可能と判断されて後述のステップ S809、S810 および S808 の処理は行われないでステップ S802 の処理に戻るが、1 以上であり送信可能と判断されると次のステップ S809 の処理に移行する。

【0093】ステップ S809 においては管理テーブル 3061 の情報が要求情報に基づいて更新される。具体的には、送信が要求されているコンテンツ 5 の種類データ 101A に対応する貸し出し数データ 101C の値に 1 を加え、かつ対応のダウンロード可能数データ 101D それぞれの値から 1 を減じる。その後、ステップ S810 において送信が要求されたコンテンツ 5 と対応のコンテンツ再生アプリケーションは記憶部 302 から読出され要求元の受信装置 2A に送信される。この際に、送信されるコンテンツ 5 には、当該取得要求とともに受信した受信装置 2A の識別情報が付加される。要求元の受信装置 2A は、当該取得要求とともに受信した受信装置 2A の識別情報に基づいて特定される。次のステップ S808 では管理テーブル 306 のデータが読出されて、擬似的な閉空間 4 の全ての受信装置 2A にブロードキャストにより送信される。その後ステップ S802 の処理に戻る。

【0094】一方、ステップ S806 において、コンテンツ 5 の返却要求が受信された場合は、ステップ S80

19

7において、管理テーブル3061のデータが要求情報に基づいて更新される。具体的には、返却が要求されているコンテンツ5の種類データ101Aに対応する貸し出し数データ101Cの値から1を減じ、かつ対応のダウンロード可能数データ101Dの値に1を加える。その後、ステップS808の処理が前述と同様に行なわれて、その後ステップS802の処理に戻る。

【0095】ここでは、ステップS8061において送信が要求されているコンテンツ5を送信可能であるか否か判断するようにしているが、当該判断処理を省略することもできる。つまり、前述したように利用者は、ディスプレイ14に表示されたコンテンツ貸し出し状況エリア17の情報を確認して、ダウンロードボタン9を操作する。このことに鑑みると、コンテンツ貸し出し状況エリア17において対応のダウンロード可能データ11Dの値が0を示すコンテンツ5の送信が要求されることはないからである。

【0096】このようにステップS8061の判断が必要とされるような状況はあり得ないはずではあるが、次のような状況においてはこのような判断が必要とされる。つまり、対応のダウンロード可能データ11Dの値が1以上を示しているのでダウンロード可能なコンテンツ5の取得要求が利用者から発信されたとき、同時に他の利用者も同じコンテンツ5の取得要求を発信して、その結果、他の利用者が先に当該コンテンツ5のダウンロードに成功した場合などはこの状況に該当する。したがって、ステップS8061において送信不可能と判断された場合は、要求元の受信装置2Aに対してコンテンツ5をダウンロードできない旨を通知するようにしておくことが好ましい。

【0097】図12は、本実施の形態2に係る受信装置2Aにおける処理フローチャートである。受信装置2Aにおいて、ステップS901では配信装置1Aから送信されたコンテンツ5、コンテンツ再生用アプリケーション、管理テーブル3061のデータおよびリフレッシュ信号RFが受信される。次にステップS902において、信号確認部411により計時される所定期間を示す変数Tに定数T0が設定される。ステップS903では変数Tの値が判断されて、変数Tの値が0より大きければ("NO")、ステップS905において入力部405が操作された何らかの要求が有ったか否か判断され、要求有りと判断されると次のステップS906において、該要求はコンテンツ5の取得要求であるか返却要求であるかが判断される。取得要求と判断された場合、ステップS901で受信された管理テーブル3061のデータに従い更新されたテーブル格納部404のコンテンツ貸し出し状況テーブル4041の内容に基づいて、ステップS907において取得要求されるコンテンツ5の送信が可能であるかどうかが判断される。具体的には、取得要求されるコンテンツ5に対応のダウンロード

50

20

可能データ101Dの値が0であり送信不可能と判断された場合は、ステップS903の処理に戻る。対応のダウンロード可能データ101Dの値が0より大きく送信可能と判断された場合は、ステップS908において送信部408はコンテンツ5の送信を要求する信号を配信装置1Aに対して送信する。その後ステップS903の処理に戻る。この際、取得要求には、配信装置1Aにおいて当該取得要求の送信元である受信装置2Aを一意に識別することができるよう、当該受信装置2Aを特定するための識別情報が識別情報付加部407により予め付加される。

【0098】ステップS906において、コンテンツ5の返却要求であると判断された場合は、ステップS909において送信部408によりコンテンツ5の返却を要求する信号が配信装置1Aに対して送信されて、ステップS910において該コンテンツ5は記憶部402から消去されて、その後ステップS903の処理に戻る。

【0099】ステップS905において、ユーザ要求がなかった場合は、ステップS911では、ステップS901の受信データは管理テーブル3061のデータかどうかが判断される。管理テーブル3061のデータと判断された場合、ステップS912では、受信された管理テーブル3061のデータに基づいてテーブル管理部404のコンテンツ貸し出し状況テーブル4041の情報は更新されて、更新後のコンテンツ貸し出し状況テーブル4041の情報はコンテンツ貸し出し状況エリア17に表示される。その後ステップS903の処理に戻る。

【0100】ステップS911で受信データは管理テーブル3061のデータでないと判断された場合、ステップS913では、受信データはコンテンツ5であるか否かが判断される。

コンテンツ5であると判断された場合、ステップS913で該コンテンツ5に付加されている識別情報と当該受信装置2Aに予め割当てられた識別情報が一致しているかどうかが識別情報チェック部409により判断される。識別情報が一致している場合にはステップS914では、受信された該コンテンツ5と対応のコンテンツ再生アプリケーションは記憶部402に格納されて、ステップS903の処理に戻る。識別情報が一致しない場合は、受信されたコンテンツ5の自己

40 の受信装置2A宛のものではないと判断されて、ステップS914のコンテンツ5の格納処理はスルーして、ステップS903の処理に戻る。

【0101】ステップS913で、受信データはコンテンツ5でないと判断された場合、ステップS915で、受信データはリフレッシュ信号RFであるかどうか判断される。リフレッシュ信号RFであると判断された場合、ステップS915で変数Tの値に定数T0が再設定されて、ステップS916においてコンテンツ5の再生が継続して行われる。その後ステップS903の処理に戻る。

【0102】ステップS915で受信データはリフレッシュ信号RFでないと判断された場合、ステップS917で信号確認部411により変数Tの値から所定の時間を示す値△Tが減じられて、その後ステップS903の処理に戻る。

【0103】ステップS903において、変数Tの値が0以下になったと判断されると、ステップS904で前述したステップS304と同様にコンテンツ再生用アプリケーションによるデータ削除またはデータ加工の処理が行なわれる。これにより、当該受信装置2Aにおいてコンテンツ5を再生することができなくなる。その後、処理は終了する。

【0104】利用者は、上述した手順でダウンロードされたコンテンツ5を配信装置1Aに返却しないで、受信装置2Aを携帯して擬似的な閉空間4から出でていってしまうと、無断でコンテンツ5が擬似的な閉空間4の外部に持ち出されてしまうという不都合が生じる。つまり、管理テーブル3061においては当該コンテンツ5は貸し出し中のままとなり、該コンテンツ5について新たな貸し出しができなくなるという不都合が生じる。このような不都合を回避するために、次のような仕組みを設けておくことも可能である。すなわち、配信装置1Aは受信装置2AがステップS908で送信した識別情報を受信して、受信した識別情報を示す信号を定期的に擬似的な閉空間4内にブロードキャストにて送信すると、当該識別情報に対応の受信装置2Aが当該信号を受信して配信装置1Aに対して応答信号を返信する仕組みを設ける。このような仕組みを設けることにより、配信装置1Aは応答信号を受信するか否かにより、コンテンツ5がダウンロードされた受信装置2Aが擬似的な閉空間4内に存在するか否かを確認できる。

【0105】以上の処理により、受信装置2Aを携帯して擬似的な閉空間4内に入ってきた利用者は、ディスプレイ14に表示されるコンテンツ貸出状況エリア17の情報を確認して、ダウンロード可能であって所望する種類のコンテンツ5を特定して、該コンテンツ5の送信を要求して取得することができる。利用者は、取得してディスプレイ14に表示されたコンテンツ5を閲覧すると、閲覧終了時には、該コンテンツ5を配信装置1Aに対して返却することもできる。

【0106】したがって、本実施の形態2によるコンテンツ配信システム3Aでは各種類のコンテンツ5について配信数に制限が設けられた状態で、コンテンツ5を配信できる。また、利用者がコンテンツ5を擬似的な閉空間4の外部に持ち出そうとした場合には、擬似的な閉空間4の外ではコンテンツ5を再生できないので、コンテンツ5が無断で持ち出されるのを防止できて、著作権に関するトラブルも回避できる。

【0107】図13は、本実施の形態2におけるコンテンツ配信システム3Aの具体例を示す概念図である。図

示されるように天井に配信装置1Aの送信部304および受信部305が設けられる。図13において実施の形態1と異なる主な点は、1つ以上の通信装置8がケーブル81により送信部304および受信部305に接続される点にある。通信装置8は利用者が携帯する受信装置2Aと無線により通信することができる。図中の双方向矢印Xは識別情報が受信装置2Aと通信装置8との間で通信されることを示す。受信装置2Aのそれと天井に設けられた送信部304および受信部305との間で1対1通信による識別情報を含むデータの送受信は、ケーブル81および通信装置8を介して行なわれる。リフレッシュ信号RFなどの通信のように図中点線矢印のブロードキャストによる通信が行なわれる場合は、実施の形態1と同様に無線による通信が行われる。したがって、本実施の形態2では、通信はブロードキャストによる1対多通信と、前述の1対1通信とに分けられて、データ送受信に必要な処理を軽減した構成が採用される。なお、本実施の形態2を図6に示す実施の形態1と同様の構成にすることももちろん可能である。

【0108】コンテンツ5の種類は、本実施の形態1と2では電子書籍や電子マガジンのような静止画像系のものを挙げたが、これに限定されない。たとえば、音声データや音楽データや動画データなどであってもよい。なお、複数種類のコンテンツ5が配信される場合には、それぞれの種類の対応したコンテンツ再生用アプリケーションが配信されることが望ましい。

【0109】実施の形態1と2で使用されたフローチャート、機能構成およびハードウェア構成は、一例であり、これに限定されない。

【0110】実施の形態1と2では受信装置2(2A)それぞれはコンテンツ再生用アプリケーションを、配信装置1(1A)からダウンロードされることにより取得しているが、取得方法はこれに限定されない。例えば、予め受信装置2(2A)に内蔵されているプログラムやデータをコンテンツ再生用アプリケーションとして利用する形態であってもよい。

【0111】実施の形態1と2におけるリフレッシュ信号RFについては、単純な信号の場合には利用者による不正行為を防止するために、擬似的な閉空間4毎に個別の鍵を用いて暗号化されたものであることが望ましい。

【0112】実施の形態1と2における受信装置2(2A)は、利用者が所有しているものに限らず擬似的な閉空間4に対応の施設において利用者に対して貸出されるような形態であってもよい。

【0113】(実施の形態3) 次に実施の形態3について説明する。

【0114】以上説明した処理機能は、プログラムを用いて実現される。本実施の形態3では、このプログラムはコンピュータで読み取可能な記録媒体に格納されることが示される。

【0115】図14と図15は、この発明の実施の形態3に係る配信装置1Bと受信装置2Bの構成図である。図示される配信装置1Bの構成は実施の形態1および2の配信装置1および1Aそれぞれにも適用されて、受信装置2Bの構成は実施の形態1および2の受信装置2および2Aそれぞれにも適用される。

【0116】図14を参照して配信装置1Bは該装置自体を集中的に制御するためのCPU(中央処理装置の略)122、ROM(Read Only Memory)またはRAM(ランダムアクセスメモリの略)を含んで構成されるメモリ124、固定ディスク126、FD(フレキシブルディスク)1321が着脱自在に装着されて、装着されたFD1321をアクセスするFD駆動装置1301、CD-ROM(Compact Disc Read Only Memory)1421が着脱自在に装着されて、装着されたCD-ROM1421をアクセスするCD-ROM駆動装置1401、通信ネットワーク1821と該装置とを通信接続することのできる通信インターフェイス1801、CRT(陰極線管)または液晶などからなるモニタ110、キーボード1501、マウス1601およびペンタブレット1701を有する。これらの各部はバスを介して通信接続される。通信インターフェイス1801はまた受信装置2Bそれぞれと無線通信するための機能またはケーブル81を介した通信機能を有する。通信ネットワーク1821はインターネットを含む有線または無線による各種の通信網が適用される。

【0117】配信装置1Bには、カセット形式の磁気テープが着脱自在に装着されて磁気テープをアクセスする磁気テープ装置が設けられても良い。

【0118】図15を参照して受信装置2BはCPU13、ROMまたはRAMを含んで構成されるメモリ12、固定ディスク1262、FD1322が着脱自在に装着されて、装着されたFD1322をアクセスするFD駆動装置1302、CD-ROM1422が着脱自在に装着されて、装着されたCD-ROM1422をアクセスするCD-ROM駆動装置1402、通信ネットワーク1822と該装置とを通信接続することのできる通信インターフェイス1802、ディスプレイ14、入力部15、キーボード1502、マウス1602およびペンタブレット1702を有する。これらの各部はバスを介して通信接続される。通信インターフェイス1802はまた配信装置1Bまたは通信装置8と無線通信またはケーブル81を含む有線により通信するための機能を有する。通信ネットワーク1822はインターネットを含む有線または無線による各種の通信網が適用される。

【0119】受信装置2Bには、カセット形式の磁気テープが着脱自在に装着されて磁気テープをアクセスする磁気テープ装置が設けられても良い。

【0120】本実施の形態3では、実施の形態1と2で示された処理機能を実現するためのプログラムが記録さ

れる媒体として、メモリ124および12のROMであってもよいし、図示されない磁気テープ装置に着脱自在にセッタされる磁気テープ、FD駆動装置1301および1302に着脱自在にセッタされるFD1301および1302、ならびにCD-ROM駆動装置1401および1402に着脱自在にセッタされるCD-ROM1421および1422などであってもよい。いずれの場合においても、記録媒体に格納されているプログラムはCPU122および13がアクセスして実行させる方が適用されて良いし、あるいはいずれの場合においてもプログラムが一旦記録媒体から読み出されて、読み出されたプログラムは、配信装置1Bおよび受信装置2Bの所定記憶エリアにロードされた後、CPU122および13により読み出されて実行される方が適用されてもよい。このロード用のプログラムは、予め配信装置1Bおよび受信装置2Bに格納されているものとする。

【0121】ここで、上述したプログラム記録媒体は、磁気テープやカセットテープなどのテープ系、FD1321(1322)および固定ディスク1261(1262)などの磁気ディスクやCD-ROM1421(1422)/MO(Magnetic Optical Disc)/MD(Mini Disc)/DVD(Digital Versatile Disc)などの光ディスクのディスク系、ICカード(メモリカードを含む)/光カードなどのカード系、あるいはマスクROM、EPROM(Erasable and Programmable ROM)、EEPROM(Electrically EEPROM)、フラッシュROMなどによる半導体メモリ系であってもよい。

【0122】配信装置1Bには通信ネットワーク1821を経由し、受信装置2Bには通信ネットワーク1822を経由して外部からプログラムがダウンロードされて所定記憶領域に格納されるようにしてもよい。通信ネットワーク1821または1822からプログラムがダウンロードされる場合には、ダウンロード用プログラムは予め装置本体に格納しておくか、あるいは別の記録媒体から予め装置本体にインストールされる。

【0123】記録媒体に格納されている内容としてはプログラムに限定されず、データであってもよい。

【0124】今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

【0125】

【発明の効果】この発明によれば、配信されたコンテンツを受信した受信元では、受信したコンテンツを、継続信号を受信できる間は再生できるが、受信できないと再生不可能となる。それゆえに、継続信号を受信不可能な状態にある受信元では、たとえコンテンツを受信して取

得していたとしても再生することはできない。いいかえ  
ると、コンテンツ再生が許可されない状態に移行した受  
信元におけるコンテンツ再生は禁止されて、コンテンツ  
の無断持ち出しを防止できる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1におけるコンテンツ配信システムの概念図である。

【図2】 この発明の実施の形態1における配信装置1の処理フローチャートである。

【図3】 この発明の実施の形態1に係る受信装置2の10  
処理フローチャートである。

【図4】 この発明の実施の形態1に係るコンテンツ配  
信システムの機能ブロック図である。

【図5】 この発明の実施の形態1に係る受信装置2の  
主要な部品を示すハードウェアブロック図である。

【図6】 この発明の実施の形態1における具体例を示  
す概念図である。

【図7】 (A)と(B)はこの発明の実施の形態2に  
係るコンテンツ配信システムの機能ブロック図である。

【図8】 この発明の実施の形態に係る受信装置2Aを20  
形成する主要な部品を示すハードウェアブロック図であ\*

\*る。

【図9】 この発明の実施の形態2に係るコンテンツ配  
信システムの概念図である。

【図10】 (A)と(B)は、この発明の実施の形態  
2に係る受信装置2Aのディスプレイ14における表示  
画面例を示す図である。

【図11】 この発明の実施の形態2に係る配信装置1  
Aの処理フローチャートである。

【図12】 この発明の実施の形態2に係る受信装置2  
Aにおける処理フローチャートである。

【図13】 この発明の実施の形態2におけるコンテン  
ツ配信システム3Aの具体例を示す概念図である。

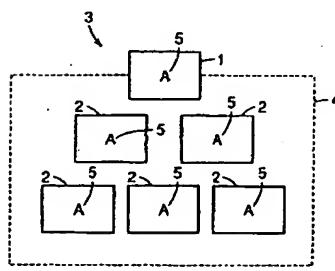
【図14】 この発明の実施の形態3に係る配信装置1  
Bの構成図である。

【図15】 この発明の実施の形態3に係る受信装置2  
Bの構成図である。

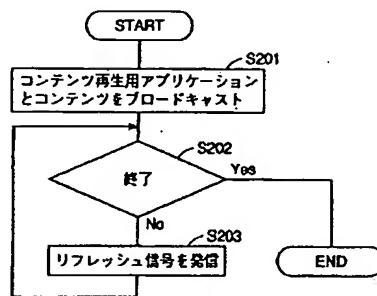
## 【符号の説明】

1, 1A, 1B コンテンツ配信装置、2, 2A, 2B  
コンテンツ受信装置、3, 3A コンテンツ配信シ  
ステム、4 模倣的な閉空間、5 コンテンツ、RF  
フレッシュ信号。

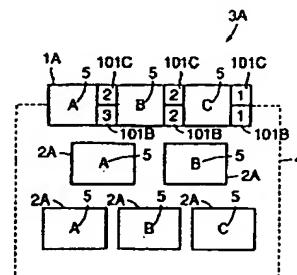
【図1】



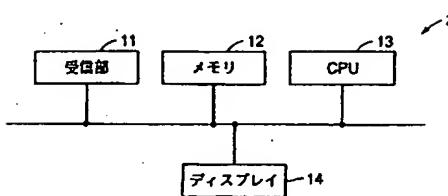
【図2】



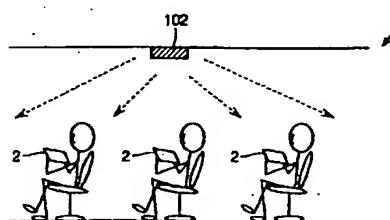
【図9】



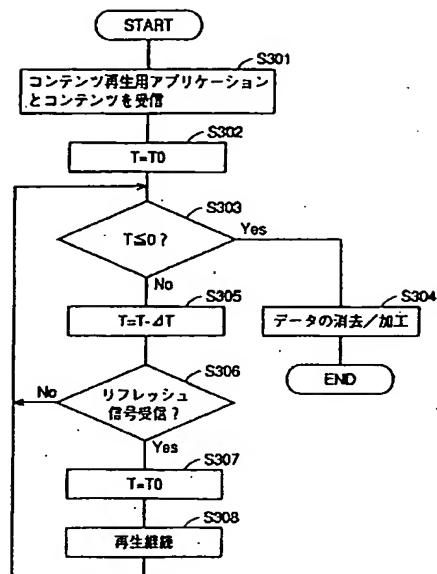
【図5】



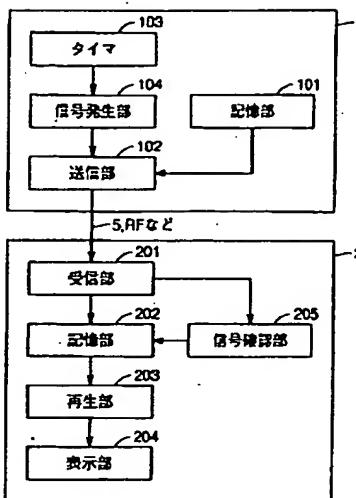
【図6】



【図3】

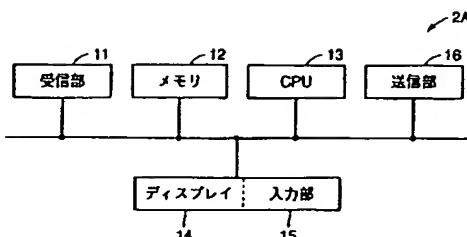
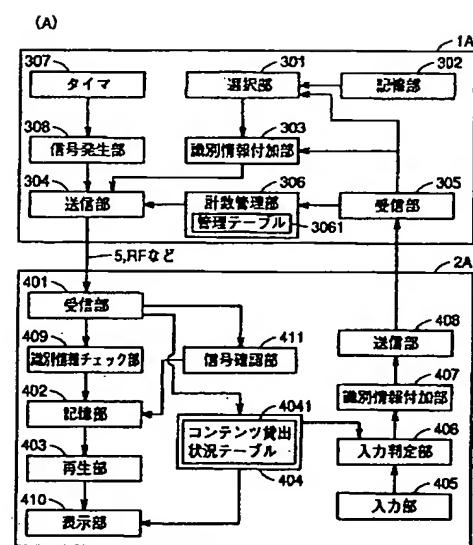


【図4】

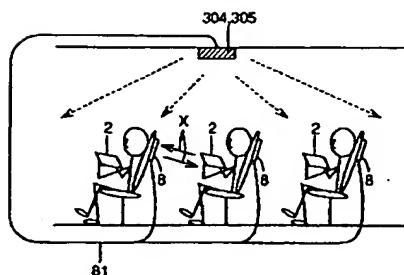


【図8】

【図7】

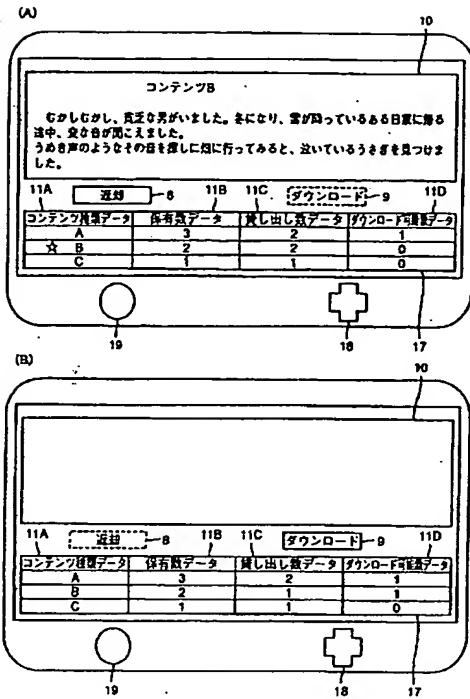


【図13】

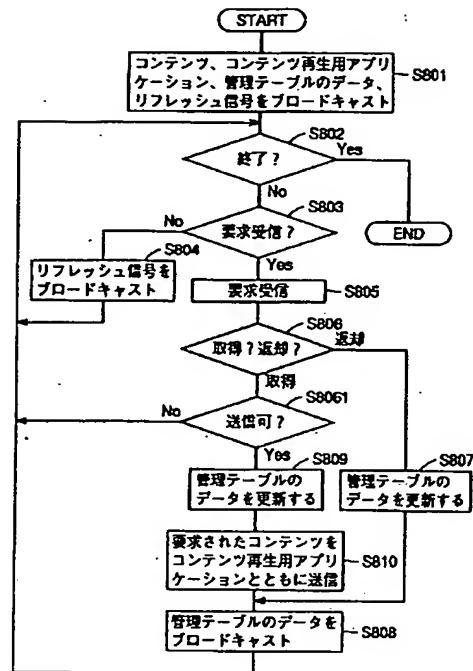


種類データ	保有数データ	貸出数データ	ダウンロード可能数データ	3061
A	3	2	1	
B	2	2	0	
C	1	1	0	
⋮	⋮	⋮	⋮	

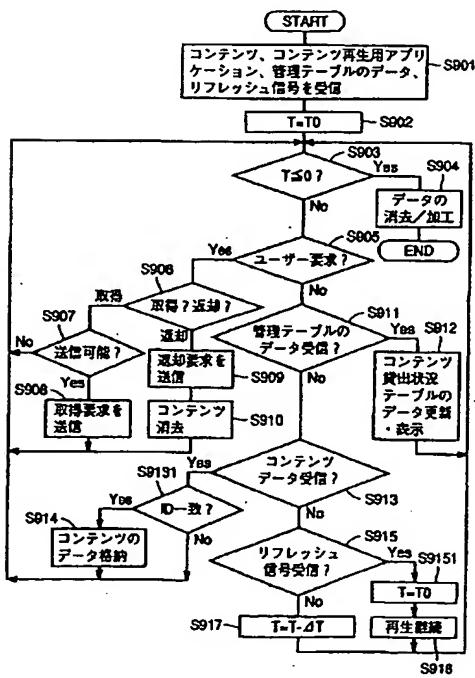
【図10】



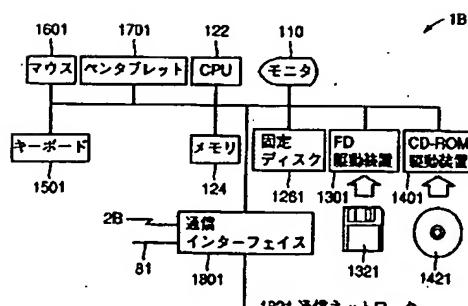
【図11】



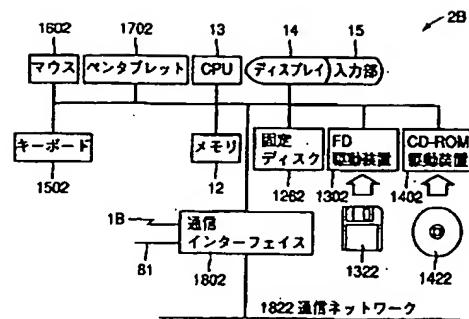
【図12】



【図14】



【図15】




---

フロントページの続き

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	マーク (参考)
G 06 F 17/30	120	G 06 F 17/30	120 B
H 04 H 1/00		H 04 H 1/00	A

(54) 【発明の名称】 コンテンツ配信システム、コンテンツ受信装置、コンテンツ配信装置、コンテンツ受信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体、コンテンツ配信プログラムを記録した機械読取可能な記録媒体、コンテンツ受信プログラムおよびコンテンツ配信プログラム

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ~~**FADED TEXT OR DRAWING**~~
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ~~**GRAY SCALE DOCUMENTS**~~
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**